

# KITCC NEWS



2022年1月

## 特定技能で活躍中です！ F社タナさん



生活、日本とベトナムの文化の違い、その他たくさん話題で盛り上がり、楽しみました。いつもお世話をして下さる担当のHさんが、入社当初、毎週1時間の勉強会を開いて下さったことも、会話に必要な日本語を学ぶのにも役立つりました。本人の向上心と会社の方々の協力のおかげで、タンさんの日本語会話はメキメキと上達していきました。

タンさんは2017年5月、金属プレスを学ぶ実習生としてベトナムから来日し、大阪府F社に入社しました。F社には既に、機械検査のベトナム人実習生が在籍していました。タンさんを含む同期3名は、F社にとって初めての金属プレス実習生。同職種に従事するベトナム人の先輩はおらず、実習中は言葉の面で誰にも頼ることができません。最初は日本語での指示を全く理解することができませんでした。そこで彼らは、理解できるまで何度も聞き直し、日本人社員がやっているところをじっくり見て覚えることに活路を見出しました。努力の結果、少しずつではありますが、技術は着実に身に付いていきました。



とはいえ、「もっと日本人社員の話を理解したい」と思ったタンさんは、会話を中心に日本語を勉強しました。習うより慣れよ。とにかく積極的に日本人に話しかけることにしたのです。社員の方々と協力して下さいました。日本での



2020年5月からは、特定技能の在留資格で引き続きF社で就労しています。実習生の頃と変わったのは、玉掛け講習を受講させてもらい、クレーンを扱えるようになったこと。これにより仕事の幅が広がりました。その分責任も増え、今まで以上に責任感を持って仕事に取り組むようになりました。今では、先輩たちから様々な相談を受ける頼れる先輩です。「社員の皆さんが家族のように接してくれるのでありがたい」と言うタンさんのF社での生活は、もうすぐ5年になります。たくさん経験をしたタンさん。今後、F社で活躍することが期待されます。その間に、もっとたくさんの経験を積んで欲しいと思います。将来ベトナムに帰ったら、会社を作りたそうです。日本での経験がタンさんの夢を叶える糧になることを切に願います。

## 実習満了した先輩の 日本語学習のアドバイス

去る12月5日、日本語能力試験（JLPT）が実施されました。当組合からも多くの実習生が受験。結果は2月の下旬に発表される予定ですが、今回の合否に関わらず、彼らにはさらに上を目指して頑張りたいと思います。そんな先輩実習生たちのために、元組合実習生が日本語学習に関するアドバイスをくれました。彼女は、日本語の勉強を開始した1年後にN3に、2年後にN2に合格しました。そこからさらに2年後となる技能実習満了直前に、2回目の挑戦で最難関のN1に合格しています。



日本語の勉強で苦労したことについて聞かれると、読解・聴解・漢字といった回答をする人が多いです。しかし私は少し違っていました。私がいちばん苦労したのは、「勉強に対するやる気をどうやってキープするの」でした。

自宅では、テキストを使った学習はもちろん、日本人のユーチューブ動画をみて楽しみながら学びました。職場では、分からないことがあれば理解できるまで現場の日本人に質問し、日本語と技術の両方が上達するよう工夫しました。また、プライベートでも積極的に日本人に話しかけ、食べ物や生活についての会話を楽しみました。やる気さえあればなんでもできると思います。私は今後も日本語学習を継続します。皆さんも頑張ってください！

## ベトナムで待機する実習生とオンラインで交流しました

ベトナムで日本への入国を待っている実習生約30名と、オンライン交流会を開催しました。実習生は、全て自宅からの参加です。

当組合では、入国までに日本語能力試験N4レベルを習得させることを目標としています。待機者の中には、さらに上のレベルの学習に進むことを希望する人もおり、その意気込みは買いますが、より大切なのはN4の語彙や文法を確実に定着させること。そのため今回の交流会では、N4レベルで理解可能な日本語のみを用い、基礎を固めることの大切さを改めて伝えることとしました。



教室と寮の案内、富士山の登り方講座、紅葉の名所の紹介など、盛りだくさんの内容で交流会は進んでいきました。その中でも特に盛り上がりがあったのが、「浴衣の着付け講座」でした。実際に男女の浴衣を準備。組合スタッフがモデルとなり、



日本語教師が着付けていきました。ただその過程を見せるだけでなく、「女性が帯の幅が長いのでひもで調整すること」「衿は右前とし、左前だと縁起が悪いこと」など、浴衣の特徴について説明しました。実習生たちは、着物や浴衣等の和服に興味があるもの、とても高価で手が届かないと思っていたようでした。



手頃な価格の浴衣もあるのだから、日本へ来たから浴衣ライフを楽しんでほしいと思います。

今回の交流会では、実習生たちの意欲的な姿を見ることができました。「どうですか？」というこちらからの問いかけに対し、指名されなくても多くの実習生が積極的に手を挙げ、自らの感想を述べていました。N4の復習にもつながったのではないのでしょうか。やる気に満ち溢れた彼らに会える日が待ち遠しくて仕方ありません。

## トラブル事例 勝利手な判断

実習生Aさんは、実習中に大量の不良品を出してしまいました。ある小さなミスで「大丈夫だろう」と勝手に判断し、上司への報告を怠ったことが原因でした。実はAさんが不良品を出したのは初めてではなく、これで3回目。企業の担当者にはベトナム語で書かれたルール書を渡し、口頭（日本語）でも指導しました。しかし、本人には事の重大さがきちんと伝わっていないようでした。

報告を受けた組合の母語サポートスタッフは、「理解するまでしっかりと指導しなければ同じミスを繰り返してしまおう」と考えました。Aさんに対しては、「作業中に異常があれば、些細なことであっても必ず上司に報告し、自分で勝手に判断しない事」を、母語でしっかりと指導しました。しかし捉え方は人それぞれです。ミスの大小にかかわらず必ず報告！Aさんの微妙な表情に、今後も根気よく指導を続けていく必要があります。

## ～ 世界の人々に日本を好きになってもらう ～

協同組合関西技術協力センターは、2002年に設立された外国人技能実習制度における受け入れ監視団体です。2019年には特定技能制度における支援機関として登録されました。教育・各種サポートは、受け入れ企業様に好評を頂いております。「日本企業と諸外国との架け橋になりたい」「日本で成長した若者を世界中に増やしたい」というような想いで日々活動しております。「何の知識もないけれど…」「実習生と直接話してみたい」等々、お気軽にお問い合わせください。

発行・お問い合わせ 大阪本部 広報課 TEL:06-6333-2373 (平日9時～18時)

大阪本部 〒561-0832 大阪府豊中市庄内西町1丁目3番15号  
名古屋事務所 〒453-0013 愛知県名古屋市中村区亀島2丁目14番10号フジオフィスビルディング4F  
広島事務所 〒730-0051 広島県広島市中区大手町3丁目8番1号 大手町中央ビル10F

Kansai Technical Cooperation Center  
協同組合関西技術協力センター  
一般監視団体/登録支援機関



本部外観

